

大切な命! 自分で守る

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるよう、次の3つを基本とする「自己救命策確保」を推進しています。

ライフジャケットの



常時着用

適切な連絡手段の



確保



海の緊急通報



事故が発生した時は?

事故が発生したら、直ちに人命・船舶の救助を行うと共に、海上保安庁(118番)、付近の船舶などへ以下の項目について連絡してください。

自船(乗船者)に緊急事態が発生していることを、周りに知らせることが重要です。

- 通報者の名前
- 船名、船種、乗船人数、船体の特徴(船体の色や形等)
- どのような事故か
(衝突、転覆、急病、海中転落等)
- 今通報している以外に利用できる連絡手段
- 事故発生場所(通報場所)はどこか
(場所が不明な場合、出航場所及び事故発生場所への航行時間等)
- その他参考事項
- 傷病者の人数、傷病の状況及び実施した措置
- 船舶の状況及び実施した措置



沿岸域情報提供システム(MICS)

ミックス

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の状況、海上工事の状況など、海の安全に関する情報を提供する沿岸域情報提供システム(MICS)を運用しています。MICSの情報は、インターネットを通じて誰でも簡単に利用することができます。

パソコン用サイト

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>

スマートフォン用サイト(平成27年7月から運用開始)

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>

緊急情報配信サービス

24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

新規登録用ページ

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

マリンセーフティガイド



安全航行の
チェックポイント

プレジャーボート 編

水上オートバイ
ミニボート



海上保安庁
JCG

小型船舶船長の遵守事項

● 酒酔い操縦などの禁止



● 免許所有者の自己操縦^(※1)



● 危険操縦の禁止



● ライフジャケットなどの着用^(※2)



● 発航前点検の実施



● 見張りの実施



● 事故時の人命救助



☆これらに違反すると免許停止などの対象となる場合があります。

※1: 港内や航路内(水上オートバイは全ての水域)では、免許者が直接操縦しなければなりません。
 ※2: 子供や水上オートバイの乗船者等は、ライフジャケット等を着用しなければなりません。

出航前のチェックポイント



無理のない航海計画と家族などへその周知を!



気象・海象情報をチェック!



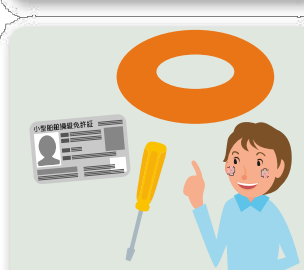
気象・海象に不安を感じるなら、出航しない勇気を!



連絡がつくところで楽しみましょう!



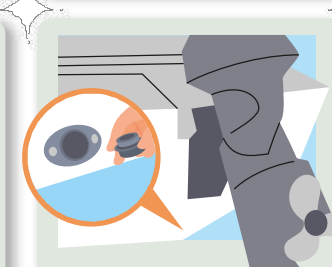
全員ライフジャケット着用を!



法定書類、法定備品を忘れずに!



ビルジは溜まってませんか?



船底プラグはきちんとしまっていますか?



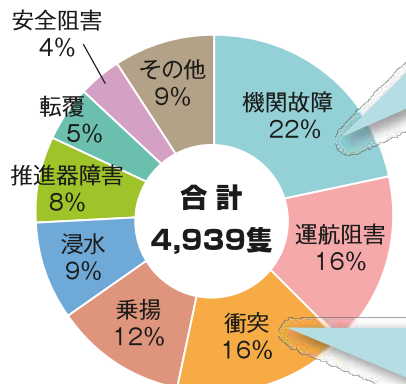
損傷している箇所ありませんか?

機関の発航前点検については、4ページをあわせて確認してください。

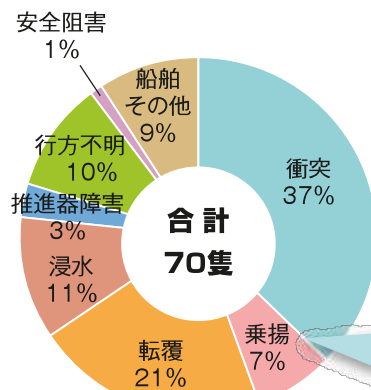
プレジャーボート*の海難状況

(過去5年)

海難の発生状況



死者・行方不明者を伴う海難の発生状況



原因と対策

機関故障(全体の1/5)

主原因:機関取扱不良
(発航前点検未実施による事故がその6割!)

機関故障のほか、バッテリー過放電や燃料欠乏などの運航阻害も全件数の1/6発生しています。これらは日頃の適切な取扱いや発航前点検の実施により予防することができます。

衝突(全体の1/6)

主原因:見張り不十分
(遊漁中、遊漁準備中等における事故がその4割)

見張り不十分と操船不適切の合計が約9割を占めます。常時見張りを確実にし、ルールに基づく早めの対応が重要です。

転覆(15隻)

主原因:気象・海象不注意

死者・行方不明者は過去5年間で77人発生し、転覆によるものが1/5を占めます。荒天のため航行することが難しくなったり、船に浸水した事故も多いので、港を出る前、出たあとも気象・海象には十分気をつけましょう。

チェックポイント

しっかり発航前点検を行い、運航中も確認していますか

燃料

- 燃料は十分ありますか
- 燃料こし器の目詰まりはないですか
- 燃料コックを開けましたか

エンジンオイル

- オイルは規定量ありますか
- エンジンからの漏れはないですか
- 定期的に交換していますか

漂流中

- 電装品を使いすぎていませんか
- 再始動時、クラッチ中立やキルスイッチを確認していますか

バッテリー

- 十分な電圧はありますか
- 端子に緩みはないですか
- バッテリー液は十分ありますか

冷却水

- 冷却水は規定量ありますか
- 海水用こし器の目詰まりはないですか
- 海水取入弁は開けましたか

エンジン

- 運転音、排気ガスの温度、色、臭いは正常ですか
- 冷却水排出状況、温度及びオイル圧力は正常ですか
- 機関回転数は正常ですか

点検の一例は.....

発航前点検

検索

※詳しくは自船の取扱説明書等を確認ください。

常に見張りをしていますか



- 双眼鏡、レーダーなどを活用し見張っていますか
- 他の船舶、障害物、浅瀬が近くにありませんか
- 今船がどこにいるか把握していますか

ルール、マナーを守っていますか



- 基本的な交通ルールを守り早めに避航
- 工事・作業区域には入らない
- 航路内や狭水道で錨泊、漂流をしない
- 航路標識やパイに係留しない

海上保安庁ホームページ

安全な航海のために

安全とマナーのチェックポイント

最新の気象海象情報を入手していますか



- MICSなどで最新の天気予報を確認
- 風、雲、波などの変化に注意
- 仲間の船と情報交換

出航取り止めの勇気・
早期帰航の決断!

チェックポイントに
注意して安全運航



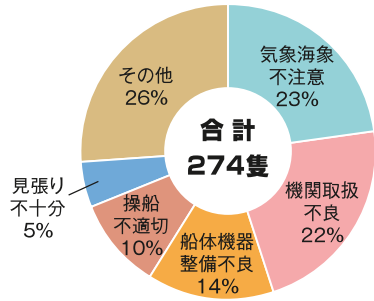
*プレジャーボート:レクリエーションなどに用いる船舶で、モーターボート、水上オートバイ、ミニボートなどをいいます。

ミニボートを安全に利用するために

ミニボートの海難

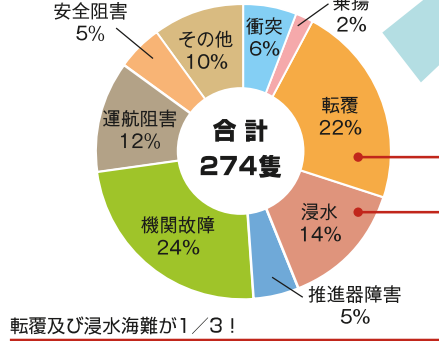
免許や船舶検査が不要な「ミニボート」(※1)の海難は、過去5年間で274隻発生しています。

海難の原因



気象海象不注意が1/4!
出航前には気象状況をチェック!
航行中も天候変化に早め早めに対応を!

海難の種類



転覆及び浸水海難が1/3!

※ 安全阻害: 転覆に至らない船体傾斜、荒天難航等による海難

ミニボートの安全運航のためには!!

強風や波が高い時は出航中止!

風、波の影響で転覆しやすいです。



海のルールを守ろう!

ミニボート運航には免許は不要ですが、ルール・マナーを守り、安全な航行に努めましょう。



ミニボートは気付かれにくい!

旗竿などで周りに存在を周知し、夜間の航行は控えましょう。(※2)



帰航困難の恐れ!

機関出力が小さく、燃料も少ないことから、強風や潮流で沖合いに流されると、戻れなくなる場合があります。



※1 ミニボートとは ①船の長さ3m未満②推進機関の出力が1.5kw未満(約2馬力)③直ちにプロペラの回転を停止することができる機構を有する船舶その他のプロペラによる人の身体の障害を防止する構造を有する船舶

※2 夜間航行を行う場合は、ミニボートであっても日没から日出及び視界制限状態において法律で定められた灯火をつけなければなりません。

転覆及び浸水海難につながるミニボートの危険行為



乗り過ぎ

端による

立つ

ミニボートに乗る前に知っておきたい安全知識と準備

安全知識と準備の一例は

ミニボート

検索

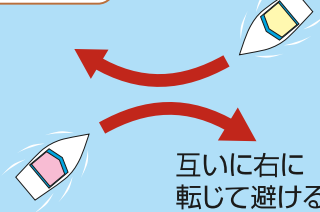
海事局作成
ミニボート用安全マニュアル



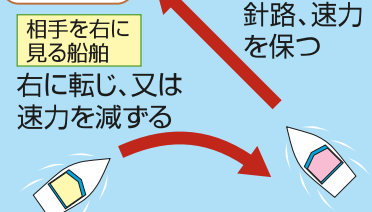
QRコード
スマートフォン対応
YouTubeに繋がります

基本的な海上交通ルール

行会い船

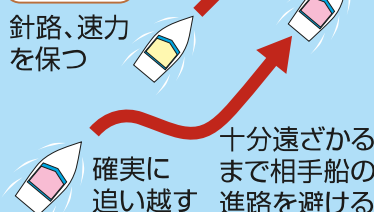


横切り船

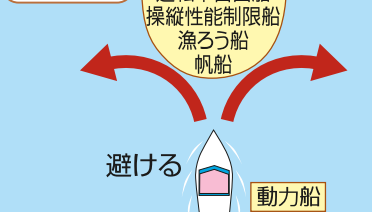


相手の動きのみでは衝突が避けられないときは、自船も舵をきつたりエンジン停止又は後進にかけたりして、衝突を防ぐようにしましょう!

追越し船



各船間



洋上でのトラブルシューティング

※ 詳細につきましては、製造メーカーのホームページをご覧ください。

ディーゼル機関

				不具合の内容	処置		
エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる	燃料装置の不具合	燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける		
				燃料装置に空気が混入している	エア抜をする		
				油水分離器に水が充満している	水を排出する		
	まわらない	電気系統の不具合	バッテリースイッチが入っていない	バッテリースイッチをONにする			
			スタータまたはスタータリレーの不良	端子を締め直す			
			接続カブラの接触不良	カブラを取り外して、再度組み付ける			
			クラッチ中立スイッチの不具合	クラッチのリモートコントロールレバーが中立になっていない	クラッチのリモートコントロールレバーを中立位置にする		
チャージランプが正常に作動しない	チャージランプが停止中に点灯しているか？	点灯	オルターネータまわりの不具合	エンジンの回転が低い	エンジンの回転を上げる		
		チャージランプが運転中に消灯しない		オルターネータ駆動Vベルトのゆるみ	Vベルトの張り強さを調整する		
	消灯		オルターネータの不良	端子を締め直す			
			電気系統の接触不良	ハーネス端子のゆるみ・接触不良	端子を締め直す		
潤滑油圧力警報ランプが点灯	潤滑油圧力計は正常な値を示しているか？	低い	潤滑油量は正常か？	正常	潤滑装置の不具合	潤滑油フィルタが目詰まりしている	フィルタを洗浄する
潤滑油温度警報ランプが点灯	潤滑油量は正常量か？	少ない	潤滑油量の不足	潤滑油が漏れている	潤滑油の不足	潤滑油が漏れている	漏れ箇所を処置し、補給する
清水温度警報ランプが点灯	清水量は正常量か？	少ない	清水量の不足	清水量が不足している	予備清水を補給する		
		正常	冷却水の吐出量は正常か？	少ない	冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	キングストンコックを全開にする
					ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する	
清水温度警報ランプが点灯	清水量は正常量か？	少ない	冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する	
		正常					冷却水の吐出量は正常か？
排気に黒い煙が出る	冷却水の吐出量は正常か？	少ない	冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する	
		正常					冷却水の吐出量は正常か？
減速逆転機の不具合	航行中にクラッチがスリップする		クラッチハンドル位置の不良	トローリングハンドルの位置がトローリング状態になっている	トローリング状態を解除する		
				クラッチハンドルとクラッチレバーの間に位相のずれがある	ハンドルとレバーの位相のずれを修正する		
	前後進の切換ができない		リモコンケーブルの不具合	リモコンケーブルの調整不良	ケーブルを再調整する		

洋上でのトラブルシューティング

※ 詳細につきましては、製造メーカーのホームページをご覧ください。

船外機

エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる	燃料装置の不具合	燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける
				燃料タンクのエアベントスクリュが締まっている	燃料タンクのエアベントスクリュを2~3回転緩める
				燃料装置に空気が混入している	プライミングポンプで燃料を供給する
				油水分離器に水が充満している	水を排出する
	まわらない	電気系統の不具合	まわらない	スパークプラグキャップが外れている	キャップを正しく入れ直す
				スパークプラグの不良	電極の清掃または交換
				スパークプラグの電極隙間が不適切	正規の隙間量に調整する
		電気系統の不具合	バッテリースイッチが入っていない	バッテリースイッチをONにする	
			バッテリーコード端子のゆるみ、または腐食	バッテリーコード端子の増し締め、または清掃する	
			緊急エンジン停止コードのロックプレートが正しく差し込まれていない	ロックプレートを正しく差し込む	
クラッチ中立スイッチの不具合	まわらない	クラッチのリモートコントロールレバーが中立になっていない	配線が接続不良・損傷している	配線を接続し直す	
			ヒューズの切断	原因を調べ、ヒューズを交換する	
機関が停止する、パワーが無い、またはアイドリングが不安定	燃料装置の不具合	まわらない	燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける	
			燃料タンクのエアベントスクリュが締まっている	燃料タンクのエアベントスクリュを2~3回転緩める	
			燃料ホースが圧迫されている	ホース取り回しの折れ曲がりなくす	
			燃料ホースの接続が正しくない	ホースを接続し直す	
			油水分離器に水が入っている	水を排出する	
			チョークが作動している	チョークノブを戻す	
	電気系統の不具合	チルトを上げすぎている	チルトを下げる		
		スパークプラグの不良	電極の清掃または交換		
		スパークプラグの電極隙間が不適切	正規の隙間量に調整する		
		配線が接続不良・損傷している	配線を接続し直す		
警告ブザーが鳴る、または警告灯が点灯する	冷却水経路の不具合	まわらない	バッテリーコード端子のゆるみ、または腐食	バッテリーコード端子の増し締め、または清掃する	
			冷却水吸水口にゴミが付着している	吸水口のゴミを除去する	
振動が大きい	燃料装置の不具合	まわらない	燃料フィルターカップ内に水が入っている	カップ内の水を除去する	
			据え付けの不具合	船外機取付ボルトのゆるみ	ボルトを増し締めする
エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる	スロットルレバースイッチの不具合	スロットルレバーを握っている	スロットルレバーを開放する
				まわらない	電気系統の不具合
	緊急エンジン停止コードのロックプレート・キーが正しく差し込まれていない	ロックプレート・キーを正しく差し込む			
	制御のロックが設定されている	制御を解除する			
	警告灯が点滅する、または警告灯が点灯する	オーバーヒート警告	冷却水経路の詰まり	吸水口に海草・ゴミが詰まっている	吸水口から異物を除去する
エンジンの回転数が低すぎる、または推進力が弱い	オーバーヒート	回転数制御が作動している	吸水口を清掃し、エンジンを冷却する		
エンジンの回転数が3,000rpm以上に上がらない	冷却水の温度が高い	ジェットポンプの不具合	吸水口に海草・ゴミが詰まっている	吸水口から異物を除去する	

P W C